

参加無料

オンライン

知ろう、伝えよう 生物多様性ホットスポット ～世界の中の日本、日本の中の大阪～

日本は世界有数の都市域を有する一方で、世界の中の生物多様性ホットスポットの一つに位置づけられるほど、豊かな生物多様性を有しています。大阪府もまた、古くから多くの人々が生活する大都市ですが、多くのホットスポットを有しています。今回の談話会では、4名の専門家より、世界の中の日本、そして大阪の中の里山、河川、干潟というホットスポットに焦点をあて、ホットスポットの成り立ちや特徴、現状や課題について、人間活動との関わりも含めて紹介していただきます。生物多様性ホットスポットとしての日本や大阪を見つめ直すとともに、今後の関わりについて考え、伝えるきっかけにしてみませんか。

日時 2020年8月22日（土）13:00～16:00

開催方法 オンライン（Zoomウェビナーで開催予定 詳細は裏面参照）

※オンライン参加が困難な方は、生物多様性センター研修室での参加も可能です。
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地参加は最大30名に限定します。）

話題提供

辻野 亮 奈良教育大学自然環境教育センター 准教授

「人と自然が形作った生物多様性ホットスポット、日本列島」

平井 規央 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

「大阪の里山の生物多様性とホットスポット」

上原 一彦 生物多様性センター長

「ホットスポット・大阪平野最後の楽園、淀川」

和田 太一 環境事業協会事業部普及啓発課

「生物多様性ホットスポットとしての大阪府の干潟とその価値」

申込締切 2020年8月16日（日）必着

※定員100名（先着順）になり次第締切（申込方法は裏面参照）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況などを踏まえ、開催方法を変更する場合があります。その場合は、8月14日（金）までに生物多様性センターHP「<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/biodiv/>」に、変更内容を掲載いたします。個別のご連絡はいたしませんのでご了承ください。

